

## 令和5年度 研究・調査企画会議 事後評価部会（第3回）

### 議事概要

1 日時：令和5年9月29日（金）13：30～14：35

2 場所：食品安全委員会中会議室（Web 会議システムを利用）

3 出席者（8名）五十音順

圓藤 陽子 圓藤労働衛生コンサルタント事務所所長

◎岡部 信彦 川崎市健康安全研究所所長

鬼武 一夫 日本生活協同組合連合会品質保証本部総合品質保証担当

眞鍋 昇 大阪国際大学教授（学長補佐）

丸井 英二 人間総合科学大学教授

宮崎 茂 一般財団法人生物科学安全研究所参与

横田恵理子 慶應義塾大学薬学部准教授

四方田千佳子 国立医薬品食品衛生研究所客員研究員

（◎：座長）

その他、食品安全委員会から山本委員長ほか1名が、事務局から中事務局長ほか6名が出席した。

4 議事概要

（1）令和4年度終了研究課題の事後評価結果（案）について

- 前々回及び前回の事後評価部会のヒアリング審査における各委員の意見を取りまとめて作成した各課題の評価所見（案）について、審議を行った。
- その結果、各委員からの意見を踏まえて、評価所見（案）の文言を若干修正し、食品安全委員会に報告することになった。

<事後評価対象課題>

- ・ 国際動向に立脚した農薬代謝物の新たなリスク評価手法に関する研究
- ・ ノロウイルスによる健康被害実態及び食品寄与割合の推計に関する研究
- ・ 新生児期から乳幼児期におけるメチル水銀の曝露評価
- ・ 乾燥・貧栄養ストレス下で生残する食中毒細菌のフードチェーンにおける動態解明と食中毒リスク予測手法の開発
- ・ 遺伝子組換え台木と非組換え穂木間の生体成分輸送に起因する食品安全性の評価点解明
- ・ 無機ヒ素のヒト体内での健康影響発現メカニズムに関する研究
- ・ 食品中の汚染物質のリスク評価手法に関する研究
- ・ 鶏肉のフードチェーンを通じたカンピロバクターの定量的動態解析とリスク低

## 減効果の評価に向けた研究

### (2) 食品安全確保総合調査の事後評価結果（案）について

令和4年度食品安全確保総合調査課題の事後評価結果（案）について、審議を行い、当該案が了承された。

#### <事後評価対象課題>

- ・ アレルゲンを含む食品のファクトシート（乳、麦類）の策定に向けた科学的知見の調査
- ・ 食品添加物のばく露評価に関する情報収集調査
- ・ 食品添加物の海外の評価結果等に関する情報収集及び調査
- ・ 農薬リスク評価に関する海外状況調査（令和4年度）
- ・ パーフルオロ化合物に係る国際機関等の評価及び科学的知見（体内動態、毒性、ばく露量、疫学調査等）の情報収集並びに整理
- ・ 食品安全委員会が地方自治体等と連携して行う食品安全に関する情報発信・リスクコミュニケーションの強化に関する調査

### (3) その他

事後評価方法の見直しについて事務局より提案があり、提案内容について了承された。

—以上—

（注：本部会は個別具体的な研究者や研究課題名及び研究の内容に言及して議論が行われることから、非公開で行った。このため、本会議の議事概要についても、それらが特定されない形で公表するものである。）